

ブコローム のワルファリン作用増強目的での使用について

実施内容	抗凝固療法中の患者において、ワルファリン の抗凝固作用増強を目的としてブコロームを経口投与する。
対象患者	・ワルファリン投与中で、十分な抗凝固効果が得られにくい患者 ・ワルファリン必要量が多く、投与量調整が困難な患者
承認日	2026年7月8日（承認外医薬品使用評価委員会 承認）
実施期間	承認日以降、継続的に実施する
目的・概要	ワルファリンは広く使用されている経口抗凝固薬であるが、個人差や薬物相互作用等により、十分な抗凝固効果が得られない場合がある。ブコロームはワルファリンの主な代謝酵素であるCYP2C9を阻害することにより、ワルファリンの血中濃度を上昇させ、抗凝固作用を増強させる。過去の臨床使用経験において、ワルファリンの抗凝固作用を増強する目的で使用される場合がある。
予想される 不利益と対策	【予想される不利益】 ・出血傾向の増強 ・消化管出血 ・頭蓋内出血等の重篤な出血 ・PT-INR上昇 【対策】 ・PT-INRの定期的かつ頻回な測定 ・出血症状（血尿、黒色便、皮下出血等）の観察 ・必要に応じたワルファリン用量調整 ・併用薬および食事内容の確認 ・重篤な出血時は速やかに適切な止血治療を行う
■ 問い合わせ先	イムス葛飾ハートセンター TEL：03-3694-8100（代表） （受付時間：平日 9:00～17:00）